

協議会だより

Vol. 64(2023 年8月 21 日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会

観葉植物

国連のグテーレス事務総長は、先月 27 日「地球温暖化の時代」は終わり、「地球沸騰化の時代」が到来したと記者会見で述べましたが、県内も連日猛暑日を記録し、昨今はやりのサウナに入っているような毎日で、とても「整う」などとは言っていない状況です。テレビでもこまめに水分を取り、不要不急の外出を控え、無理せずエアコンを使いましょうとテロップが流れています。そんな家に引き籠りがちな私たちをほんの少し癒してくれるのが観葉植物ではないでしょうか。

観葉植物の多くは、熱帯・亜熱帯が自生地で、ジャングルの木漏れ日でも育つことから、比較的暑さに強く、直射日光の当たりづらい室内でも栽培できるのが特徴です。

様々な樹形、葉の形・色がありますが、管理方法はどの植物もだいたい同じで、風通しのよい室内の明るい窓辺(レースのカーテンで光を調整)に置き、根鉢が乾いたらたっぷり水を与え、1~2年に1回生育に合わせて植え替えるといったところです。さほど手間もかからず、新芽が出て次第に大きな葉に成長していく過程を眺めると、しばし危険な暑さを忘れさせてくれます。皆さんも近くの園芸店に足を運んで気に入った一鉢を選び、窓辺に置かれてはいかがでしょうか。

さて、今回の協議会だよりは、前号の「田んぼダム」に引き続き、近年激甚化・頻発化する豪雨災害への対応として、流域全体で水害を軽減する「流域治水」の取組の一つになっている、ため池を活用した雨水貯留の取組を紹介します。

ため池を活用した雨水貯留の取組は、令和2年3月に策定された「長野県流域治水推進計画」にも位置付けられており、本来、農業用水を溜める施設である「ため池」の空き容量を使って放流河川の水位上昇を緩やかにし、洪水の発生を抑制しようとするものです。多面的機能支払事業においては、「田んぼダム」のような加算措置はないものの、多面的機能の増進を図る活動の一つである防災・減災力の強化に該当し、資源向上(共同)の交付単価が約2割増しになります。

保全管理すべき施設としてため池を抱えている活動組織におかれては、交付単価のアップとともに、地域の防災・減災力の強化が図られる、ため池を活用した雨水貯留の取組を検討されてはいかがでしょうか。



ため池を活用した雨水貯留の取組

1. 長野県のため池

ため池は、全国に約 15 万か所あり、瀬戸内海を挟んだ中・四国地域に多く分布しています。

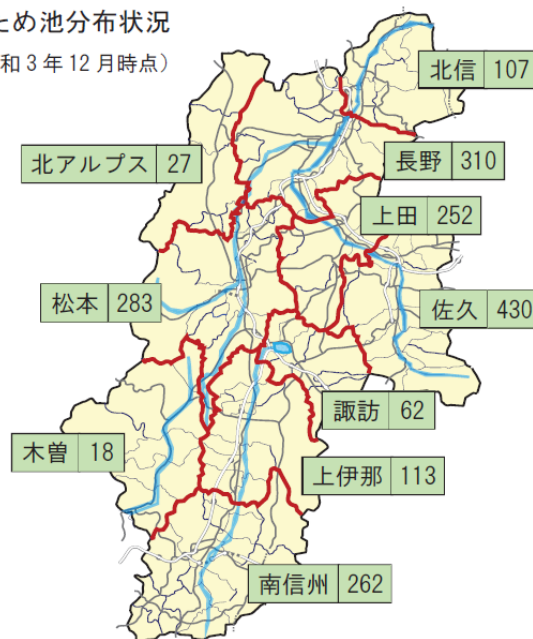
長野県には 1,864 か所(令和3年 12 月)あり、都道府県順位は 26 位で、特に降水量の少ない上田・佐久地域を中心に、長野、松本、南信州地域に多く存在しています。

長野県内のため池分布状況

(令和 3 年 12 月時点)

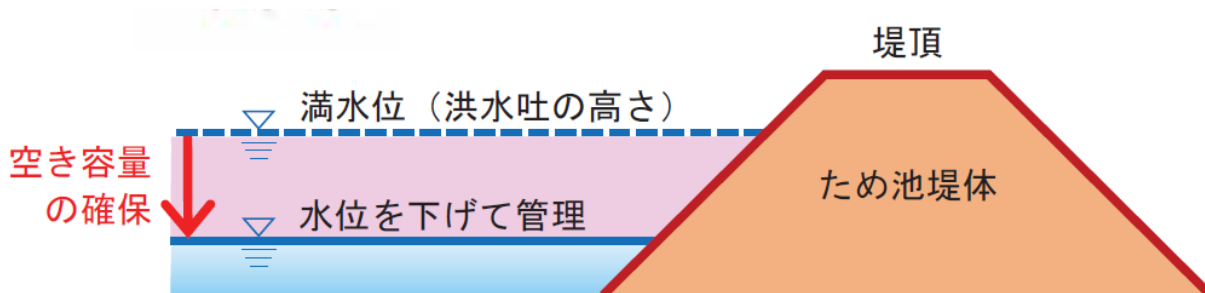
	都道府県	箇所数
1	兵庫県	22,107
2	広島県	18,793
3	香川県	12,269
4	岡山県	9,504
5	山口県	7,912
	・・・	・・・
26	長野県	1,864
	・・・	・・・

(農林水産省調べ 令和 3 年 12 月)



2. 空き容量の確保 (低水位管理)

ため池活用した雨水貯留の取組には、豪雨時に一時的に溜める空き容量を確保する必要があります。そのための方法が、普段よりため池の水位を下げて管理する「低水位管理」です。



ため池の低水位管理は、洪水調節機能を向上させるとともに、豪雨時や地震時に水が堤頂を乗り越え堤体が決壊するリスクを減らし、ため池を守る効果もあります。

ため池は、本来、農業用水を溜める施設であることから、低水位管理にあたっては、ため池を利用する耕作者の理解を得た上で、営農に影響しない範囲で実施することが基本となります。

低水位管理は、ため池下流域の人家、公共施設、農地などを洪水被害から守る効果があることから、地域全体で話し合い、地域の取組とすることが肝要です。

3. 低水位管理の手法

低水位管理には、以下の3つの手法があります。

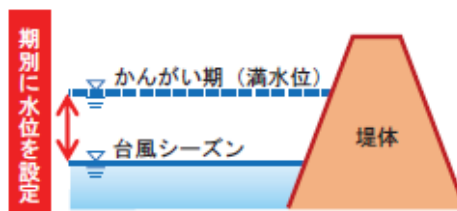
(1) 非かんがい期（台風シーズン）の低水位管理

基本的な取組

営農にため池の水を利用しない非かんがい期に、完全落水や低水位管理により空き容量を確保する手法です。

8月下旬から10月下旬に台風が襲来し、大雨をもたらすことが多い長野県では、この時期の実施が効果的と考えられます。

翌年の営農に影響しないよう、11月頃からため池に水を貯め始めます。



低水位管理の実施時期の目安

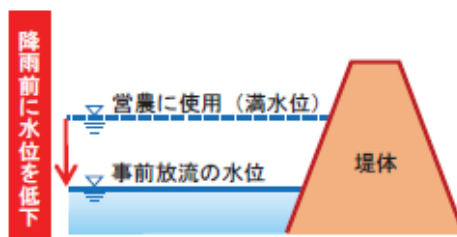
かんがい期					非かんがい期						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
←					→						
営農に使用					かんがい期に向けて貯水						

(2) 降雨前の事前放流（かんがい期）

非かんがい期の低水位管理のほか、かんがい期に、降雨予測を基にため池の貯留水を事前に放流し、空き容量を確保する手法です。

耕作に用水が必要な時期になるので、ため池の水が不足することのないよう、地域の実情に合わせて実施することが大切です。

既に下流の水路や河川が増水しているときには、被害が増大しないよう注意が必要となります。

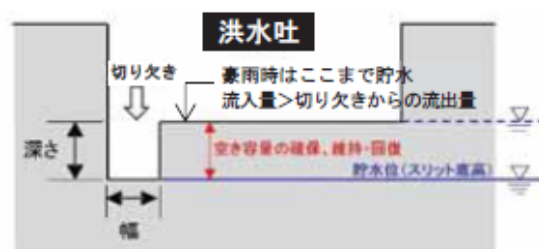


(3) 洪水吐の切り欠き（通年の取組）

洪水吐の越流堰に切り欠きを設けることにより、常時、水位を下げることが可能です。

取水施設を操作せずに低水位管理ができるため、用水量に余裕がある場合など検討してください。

切り欠き部に堰板（角落し）やゲートを設置することにより、非かんがい期のみ水位を下げることも可能になります。



4. 取組に当たっての留意事項

低水位管理の取組にあたっては、以下の点に留意が必要です。

(1)関係者の理解

ため池の低水位管理の取組は、まず、ため池管理者と住民の皆さんに、目的や効果を示して、自分たちの地域を守る取組として有効であることを知ってもらうことが大切です。

その上で、この取組が、河川への雨水の流出を抑制する洪水調節にも役立つことを理解してもらいます。

(2)ため池管理体制の整備

ため池管理者の高齢化などで、農業用水としての管理を超える作業が難しい場合は、可能な範囲で取り組んでください。

ため池は、営農で利用するほか、洪水調節、土砂流出防止、防火用水など生活用水としての利用、生態系の保全、保健休養、景観形成といった、農業以外の様々な機能があることを理解してもらい、地域で管理する体制整備が必要です。

共同活動として取り組む場合、多面的機能支払交付金の活用もご検討ください。

(3)放流に必要な施設の改修

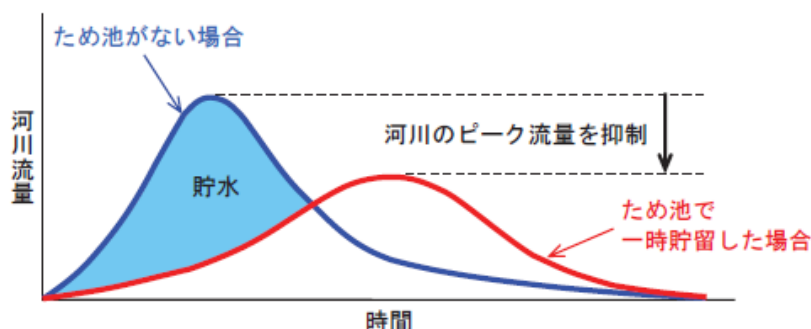
放流に必要な施設が老朽化している場合、開閉作業が難しく、危険を伴うことがあります。

取水施設は、地震時など緊急時の放流施設としても重要な施設ですので、改修や交換が必要な場合は、市町村に相談してください。

また、洪水吐に切り欠きを設けることを検討している場合、補助事業で実施できますので、市町村にご相談ください。

5. 河川流域での効果

河川の流域面積に対して、ため池の集水面積(ため池に雨水が流れ込むエリアの面積)の合計が、一定割合以上あれば、流域内のため池で低水位管理に取り組んだ場合、河川のピーク流量を抑制する効果が高まります。



なお、県内で実際に雨水貯留の取組を行ったため池の状況をはじめ、活用可能な補助事業、ため池の日常管理における留意点など、より詳しい内容をお知りになりたい方は、令和4年3月に長野県農政部農地整備課で作成した「ため池を活用した雨水貯留の取組に係る指針」(<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/tameike/tameike-usui-shishin.html>)をご覧ください。

「災害は忘れた頃にやってくる」、日頃から防災意識を高め、できるところから始めましょう。

Q&A(協議会に寄せられた質問)

Q. 質 問	A. 回 答
広域組織でない活動組織が、長寿命化で直営施工に取り組んだ場合の交付単価を受けるには、毎年度直営施工を実施しなければならないか？	長寿命化において直営施工の要件を満たすためには、<u>施設の補修・更新等を行う年度</u>(活動計画書に実施を位置付けた年度)には必ず活動組織の構成員自らがその一部でも実施する必要があります。
対象農用地面積が減少した場合、交付金を遡及して返還しなければならないが、返還が免除される「やむを得ない理由」のひとつの農業用施設用地等とした場合について、農業用倉庫は含まれるか？	農業用倉庫として農地法上の転用許可を受けた場合、もしくは当該農業用倉庫が、農地の付帯施設等として農業経営上必要不可欠なものであり、一定の要件(以下の①～④)を満たす場合は、「農業用施設用地等」に含まれると考えます。 ① 耕作の事業を行う者が、その事業のための農機具置場・倉庫などの農業用施設を設置する場合であること。 ② 施設に必要な敷地面積が2a(200 m²)未満であること。 ③ 耕作の権利を有する農地であること。 ④ 事前に農業委員会に届出をすること。



協議会から

協議会は、多面的機能支払事業に関する質問、相談をお受けしていますので、お気軽にお問い合わせください。

■問い合わせ先
 長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会
 担当:小田切
 TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352
 E メール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp
 URL <http://www.nagano-nouchimizu.net/>